



法政大学

人間環境学部 人間環境学科

話題の講義ライブ **LIVE 2015**
5.18.Mon. at Ichigaya 13:30~15:00

本日の講義

日本環境史論 I

講義の流れ

江戸時代前期、急激な耕地開発と人口増加により、環境破壊が進んでいた。データや資料を読み解きながら、「過去の歴史を学ぶ方法」「現代へのつながり」を学んでいく。

醍醐味

受験で日本史を選択していない人にもわかりやすいよう、資料も多用しながら丁寧に解説を行う。日本における「人間と自然の関係史」が一気に勉強できる、人間環境学部の人気科目だ。

江戸時代にも環境破壊は進んでいた!?

わずか100年の間に
どんどん進んだ山林開発

歴史の勉強をしていると、自分の目では確認できない昔の出来事や事件なのに、なぜその事実が「確かなこと」として語られるのか不思議に思ったことはないだろうか。根崎先生が教壇に立つこの講義では、現存する歴史資料を読み解きながら、その言葉の意味と時代背景を一つひとつ分かりやすく解説していく。さながら、日本史と古典、漢文、環境問題の授業が同時に進んでいるようだ。

「江戸時代の前半1600年代、大規模な耕地開発が進み、一気に農作物の生産量が増え、100年でそれまでの2倍近い生産量になりました。それと同時に人口も増え、住宅や生活に使う木材消費が増えた話を先週しましたね。根崎先生が先週の振り返りを行うところから講義がスタートした。

「当時の記録によると、『日本の山林に樹木がない』という記述を至るところで見ることができま。このような状況の中で、山林を守るために江戸幕府がどのような政策を行ったかを見ていきましょう」

「諸国山川掟」は、
こんなに分かりやすい!

樹木がなくなった山は、土砂災害に弱い。大雨が降ると保水ができず、水は下流に一気に流れ出す。しかも、当時、急速な土地の開発は、川べりの湿地帯にまで進んでいたため、ひとたび河川が氾濫すると人命を奪うような自然災害が多発していた。

そこで江戸幕府が制定した法令が、『諸国山川掟』だ。

第一条は『最近、草木の根まで掘り取られ、大雨のときに、川へ土砂が流れ出て水の流れが滞ってしまうので、今後は草木の根を掘り取ることを禁止する』ということだ。さらに『水の流れ』について補足が行われる。



「江戸時代の物資輸送は、海や河川を利用した水運が極めて重要でした。人力や馬で運べる量は限られていました。隅田川や江戸川、多摩川などの大きな河川はもちろん、幅1メートル程度の川でも荷物運搬に利用されていたという。

『水の流れが滞る』とは、つまり江戸時代の物流が止まってしまうという、極めて重要な問題を含

自分の土地でも一切木を伐らせない
江戸幕府の徹底した取り決め

講義の後半では、江戸時代の土地所有の問題に話が及んだ。「明治以降は土地の私的所有が認められていますが、江戸時代、農民には土地の所有は認められていません。農民が持つのは、土地に住む権利と耕作する権利のみで所有権はない。管理するのは、その土地の領主なのだ。

さらに『諸国山川掟』が発令された年と同じ1666年、「屋敷周りの伐木規制」という発令もあった。これは、自らが住

む屋敷の周囲であつても、勝手に木を伐つてはいけなく、必ず役人に届け出て、許可を得なければいけないという法令だ。

「現在でも東京には、緑が多く残る公園がありますね。例えば後楽園は、水戸徳川家の屋敷跡です。ほかにも都内の大規模な公園は、大名の屋敷跡が多いんです。屋敷周りの樹木を勝手に伐れないという規制ができたことにより、現在でも多くの緑が残るきっかけになった。

このように、江戸時代と現代では、「木材の伐採」「植林」という点だけをみても、現在とは違うアプローチが必要である。「地域の文化や歴史を知らずに、その地域の環境問題を解決することはできません。この講義を通じて、まずはこの大前提の視点を得てもらいたいです」と根崎先生は、講義の狙いを話した。



ねさき みつお
根崎 光男先生

1954年茨城県生まれ。1983年法政大学大学院博士後期課程単位取得。現在、法政大学人間環境学部教授、博士(歴史学)。「いつの時代でも先人たちは環境問題に直面し、その都度、問題解決に尽力してきました。この講義では各時代の社会的背景を視野に入れながら、環境問題のありようと、先人の取り組みや知恵を学んでいきます」

「江戸時代の物資輸送は、海や河川を利用した水運が極めて重要でした。人力や馬で運べる量は限られていました。隅田川や江戸川、多摩川などの大きな河川はもちろん、幅1メートル程度の川でも荷物運搬に利用されていたという。」

「この法令に違反していないかを確認するため、役人が派遣され、実際に処罰があった事例も報告されています」。

学生の声

堀 寛貴さん

人間環境学部 人間環境学科4年生
江戸時代は自然が豊かなイメージだったので、その頃から環境破壊が進んでいたことに驚きました。もともと歴史の勉強は好きなので、環境の歴史だけでなく、江戸時代の豆知識なども合わせて学べるこの講義を、毎回楽しみにしています。

須藤 彩夏さん

人間環境学部 人間環境学科1年生
根崎先生は、スライドをたくさん使いながら、環境と日本の歴史を関連付けて教えてくれるので、歴史の知識のない私にもとても分かりやすいです。この学部は、一つのジャンルにとらわれない、さまざまな分野の勉強ができるのが魅力です。

海澤 理紗さん

人間環境学部 人間環境学科1年生
歴史は苦手でしたが、この講義は先生の説明がとても分かりやすいです。昔は、川を使って物資を運んでいたことも知らなかったの、大学の目の前にある川も、そのように使われていたと聞くと、不思議な気持ちになります。



法政大学

URL <http://www.hosei.ac.jp/nyugakuannai/index.html>
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学 入学センター
TEL 03-3264-9300

- 法学部
- 文学部
- 経済学部
- 社会学部
- 経営学部
- 国際文化学部
- 人間環境学部
- 現代福祉学部
- キャリアデザイン学部
- GIS (グローバル教養学部)
- スポーツ健康学部
- 情報科学部
- デザイン工学部
- 理工学部
- 生命科学部

【沿革・歴史】

- 1880 (明治13) 年 法政大学の前身・東京法政社設立
- 1920 (大正9) 年 大学令により初めて私立大学の設置が認可され、財団法人法政大学となる
- 1922 (大正11) 年 法学部、経済学部を設置
- 1947 (昭和22) 年 法学部に文学部、哲学部を新設して法文学部となる
- 1950 (昭和25) 年 法文学部が法学部、文学部に改編され、経済学部と合わせて3学部となる
- 1952 (昭和27) 年 工学部を設置
- 1959 (昭和34) 年 社会学部を設置
- 1999 (平成11) 年 経営学部を設置
- 2000 (平成12) 年 国際文化学部、人間環境学部を設置
- 2003 (平成15) 年 創立120周年。現代福祉学部、情報科学部を設置
- 2007 (平成19) 年 キャリアデザイン学部を設置
- 2008 (平成20) 年 デザイン工学部を設置
- 2009 (平成21) 年 理工学部、生命科学部、GIS (グローバル教養学部) を設置
- 2010 (平成22) 年 スポーツ健康学部を設置
- 2011 (平成23) 年 創立130周年。現代福祉学部現代福祉学科を、福祉コミュニティ学科、臨床心理学部に改組
- 2014 (平成26) 年 理工学部創生科学科を設置
- 生命機能学植物医科学専修を改組し、応用植物科学科を設置

イベント情報

○オープンキャンパス

■市ヶ谷キャンパス

8月2日 (日)、23日 (日)、24日 (月) 10:00~16:30
法学部・文学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・キャリアデザイン学部・デザイン工学部・GIS (グローバル教養学部)・経済学部・社会学部・現代福祉学部・スポーツ健康学部

※経済学部・社会学部・現代福祉学部・スポーツ健康学部は8/2・23のみ対象。

■多摩キャンパス

8月8日 (土)、22日 (土) 11:00~15:30
経済学部・社会学部・現代福祉学部・スポーツ健康学部

■小金井キャンパス

8月8日 (土)、22日 (土) 10:30~15:30
情報科学部・理工学部・生命科学部

※今後の詳細や変更に関しては、HP上でお知らせいたします。
http://www.hosei.ac.jp/nyugakuannai/gakubu/hosei_navi/event/open/index.html

取材担当記者より
法政大学、
こんな大学でした!

都心一等地に、巨大なオフィスビルかと思間違えようなシンボルタワーが建つ法政大学の市ヶ谷キャンパス。根崎先生の講義は、約400人が受講できる教室もほぼ満席になるほどの人気講義だ。根崎先生の「真の国際人になるためには、日本史の知識は欠かせない」という。高校で日本史を勉強していない人も、日本の歴史を学ぶいい機会にしてほしい」との言葉が印象的だった。